

○地方創生推進交付金事業に係る検証シート

地方創生支援策区分	地方創生推進交付金	担当部署	産業観光課 産業振興室				
交付金対象事業の名称	吉岡町小規模事業者販路開拓等支援事業						
事業の概要	町内の小規模事業者の販路拡大を補助金の交付により支援し、その取引拡大を通じて地域経済の活性化を図るものです。なお、交付は1事業者につき1回とし、より多くの町内事業者が販路開拓に取り組み、新たな顧客の獲得と事業の発展に繋げることを目指す。						
事業経費	事業費総額：3,000,000円						
	(事業費内訳) ソフト事業 小規模事業者販路開拓等支援補助金					ハード事業 0円	
令和4年度 取組内容				取組結果			
商工会との情報交換のほか、分かりやすいホームページへの更新や町広報への掲載回数の増加から事業周知の強化を図り、10件の申請につなげた。また、申請者に対しては、販路開拓に資する取組効果がより向上するよう商工会と連携した助言等を実施した。 次年度に向けて商工会会報への実績掲載のほか、補助事業に係る取組の具体化と例示の検討を行った。				10件の交付決定がなされたが、補助事業の廃止が1件あり、最終的に9件の確定となった。内訳は、以下のとおり。 ①広報事業 件数：9件 執行額：225万円 ⇒取組事例：看板、ホームページ、包装資材 等 ②展示会等出展事業 件数：0件 執行額：－			
令和5年度 取組内容				取組結果			
補助対象事業となる例示を増加するなど分かりやすい募集要項となるようを心掛けたほか、適時ホームページの更新や町広報へ掲載し事業周知を行った。継続して商工会との連携を図り申請者の発掘につなげ、申請期間に関しても延長し、これまで交付の無かった出展事業への補助がなされた。 次年度に向けては、商工会会報への実績掲載、商工会との情報交換を行った。				9件交付決定がなされたが、補助事業（広報事業）の廃止が1件あり、最終的な交付は8件となった。内訳は以下のとおり。 ①広報事業 件数：7件 執行額：1,597,000円 ⇒取組事例：看板、ホームページ開設、改修 ②展示会等出展事業 件数：1件 執行額：300,000円 ⇒取組事例：展示会出展			
重要業績評価指標	事業開始前	令和4年度 目標値 (1年目)	令和4年度 実績値 (1年目)	令和5年度 目標値 (2年目)	令和5年度 実績値 (2年目)	令和6年度 目標値 (3年目)	令和6年度 実績値 (3年目)
交付決定事業者数(件)	0	10	9	10	8	10	
KPI未達成の場合はその理由 ⇒達成の場合は、今後の方針やプラスアルファの施策	コロナ禍を経て5類感染症に移行し、イベント等の開催が平時に戻りつつあるが展示会等出展事業の申請につながっていない。 また、募集期間延長によるKPI達成は、交付決定後の事業実施と実績報告提出期限の2月末（最長）を勘案すると、11月30日を超える募集期限の延長は出来ないと判断した。なお、募集期間内において予算に達するまでの交付決定額には至っておらず、予算を理由に申請を断念した事業者はいない。						
事業の課題/今後の取組	本補助金に係る限度額30万円、補助率1/2の自己負担、補助対象経費の下限10万円以上の設定については他補助制度と比較しても妥当と考えており、それらの見直しは予定にない。現状では本制度の販路開拓の趣旨的に沿う取組には柔軟に対応し、今後制度設計の変更を検討していく。 展示会等出展事業への補助拡大に向けては、秋以降周知されるイベントの開催増加を見込み、募集期間の延長も視野に参加事業者へのアプローチは商工会と連携する。						
町評価	去年度にはなかった展示会出展事業への補助が1件実績としてあがった。 今後も小規模事業者の販路開拓の補助を継続し、その取引拡大を通じて地域経済の活性化を図り、ひいては地方創生に繋がりたい。						
外部有識者による意見・記述欄	看板・ホームページの作成・改修が販路拡大かということに疑義がある。商業施設やその他のイベントの際の展示会などで、事業者・商品を集めて顧客に体験してもらうこと等により、積極的な販路拡大をされたい。						